

講義名	ビジネス日本語			授業形態	
担当教員	辻 周吾		開講期・曜日・時限	後期 月曜日 2時限	
	単位数	2	履修開始年次	2年生	ナンバリング・コード JPN225

主題と概要

毎回の授業で、まず、日常生活やビジネスの場で欠かせない敬語について指導します。その後、ビジネスコミュニケーションのためのケース学習を行います。授業の後半は、BJTビジネス日本語能力テストを実際に体験し、その解説を行います。

到達目標

敬語や適切な敬意を表す表現を使うことができるようになる。
限られたビジネス場面で日本語による適切なコミュニケーション能力を身につけられるようになる。
協働力・問題解決力・異文化理解力などを身につけられるようになる。

提出課題

ビジネス日本語、ビジネスコミュニケーションに関するテーマのレポートを課します。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

レポートについて、授業中にフィードバックします。

評価の基準

授業への参加度（75%）、中間レポート（15%）、期末レポート（10%）

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回、出欠をとります。
- ・15分以上の遅刻は、欠席とみなします。
- ・授業には、辞書を持って来てください。

教科書

・使用しない。

参考図書

・初級から超級まで STEP式にほんご練習帳 敬語。	松本節子	株式会社ユニコム	1430	97848968951
・BJTビジネス日本語能力テスト 公式 模擬テスト&ガイド。	公益財団法人 日本漢字能力検定協会（編集）	日本漢字能力検定協会	1870	978489096369
・ビジネス日本語マスターテキスト。	ハートアンドブレイン	IBCパブリッシング	2156	978479460518

その他

授業中にプリントや資料を配布します。

授業計画

1. 尊敬表現(スタートアップ・ドリル) /BJT模擬(場面把握問題)
2. 尊敬表現を使うときのポイント /BJT模擬(発音聴解問題)
3. どんなときに尊敬表現を使うか? /BJT模擬(発音聴解問題)
4. 尊敬表現の練習問題 /BJT模擬(総合聴解問題)
5. 謙譲表現(スタートアップ・ドリル) /BJT模擬(総合聴解問題)
6. 謙譲表現を使うときのポイント /BJT模擬(状況把握問題)
7. どんなときに謙譲表現を使うか? /BJT模擬(資料聴解問題)
8. 謙譲表現の練習問題 /BJT模擬(総合聴解問題)
9. いろいろな敬語(スタートアップ・ドリル) /BJT模擬(総合聴解問題)
10. その場にいらない第三者について話すときに使う敬語 /BJT模擬(総合聴解問題)
11. 敬意のレベルの表し方 /BJT模擬(読解・文法問題)
12. いろいろな敬語の練習問題 /BJT模擬(表現聴解問題)
13. ケース学習(1回目) /BJT模擬(総合聴解問題)
14. ケース学習(2回目) /BJT模擬(総合聴解問題)
15. ケース学習(3回目) /BJT模擬(総合聴解問題)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> A: PBL(課題解決型学習)	<input type="radio"/> I: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="radio"/> U: ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> E: グループワーク
<input type="radio"/> O: プレゼンテーション	<input type="radio"/> K: 実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> その他(A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・事前に配布する資料について大意読みと精読を行い、分からない語彙や文法を調べ...各授業2時間程度
- ・授業中に覚えた語彙や文法を確認し習得する...各授業2時間程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

留学生を対象とした科目群で、仕事の現場における実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持った人材を育成する科目です。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

ビジネスコミュニケーションをテーマとしたケーススタディを行います。学生同士、また教員と学生間で議論する機会を設けます。

実務経験の有無及び活用

備考